

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	4企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃ ようごうしゃ		団体ウェブサイトURL
	株式会社 影向舎		http://www.yougou.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
制作団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
電話番号	046-297-0255		
ふりがな 公演団体名	らくごとかみきり		団体ウェブサイトURL
	落語と紙切り		
代表者職・氏名	代表取締役 小池岳士		
公演団体所在地	〒 243-0005	最寄り駅(バス停)	小田急線本厚木駅(市立病院前)
	神奈川県厚木市松枝1丁目4番7号		
制作団体 設立年月	昭和60年3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	㈱影向舎 小池岳士・小池将直 他	制作スタッフ:11名 舞台スタッフ:12名	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	吉川啓介
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	小池弘美
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	k.yoshikawa@yougou.co.jp / koten@yougou.co.jp		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>《社是:「人と芸をつなぐ」 社訓:誠意・信念・正義》 学校公演において全国一位の公演数を有する製作者集団。昭和60年の創立以来、日々社是、社訓を見つめ直し“初めて鑑賞する人にどのように芸の魅力を伝えるか”このテーマを39年間に亘り追究、実施を繰り返し、今後も追い続ける。 創立当初は落語、狂言の公演活動から始まり、その後お客様のニーズに応えるべく日本の芸能である講談、能、邦楽、また演劇、京劇、オーケストラなどジャンルを増やしてきた。どの芸能にしても単に出演者を右から左に動かすのではなく、企画制作から公演が終了するまでのトータルプランニングを行う。それぞれの舞台を充実させるため、社内では営業部・制作部・デザイン部・舞台部を機能的に編成。各部がひとつひとつの公演を成功させるべく、万全の状態でお客様をバックアップする体制を整えている。 現在では、年間公演数が600を超え、学校公演では業界随一の実績を更新し続けつつ、他に教育委員会、公文協、老人ホーム、TV、ラジオ、ホテル、国際交流基金や大使館主催などによる海外公演(平成27年6月・イタリアローマのパラディウム劇場に、影向舎の能舞台を輸出し、舞台設営・監督業務を兼ねて、狂言公演を実施)(令和6年7月・フランスパリ公演)など多方面で公演活動を行っている。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>平成23年度＝220公演、平成24年度＝240公演、平成25年度＝240公演、平成26年度＝250公演、平成27年度＝250公演、平成28年度＝250公演、平成29年度＝250公演、平成30年度＝250公演、令和元年度＝230公演 令和2年度＝160公演、令和3年度＝240公演、令和4年度＝240公演 令和5年度＝260公演</p> <p>上記は弊社、学校公演の寄席(落語)鑑賞会の実績となります。 ※寄席(落語)分野(学校公演)では、NO.1。業界随一の実績を誇ります。 ※平成21年度～令和5年度「北海道巡回小劇場」に16年度連続で参加。</p>			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>【落語と紙切り・公演実績】 令和5年8月25日(金) 北海道平取養護学校静内ペテカリの園分校にて公演。 令和5年9月12日(火)13日(水) 青森県立弘前第二養護学校にて公演。</p> <p>※上記実績や、弊社の他公演での経験に基づき、実施校との事前の打合せの際に、実施上の注意点についてしっかりとヒアリングを行います。 その上で、出演者との内容調整、児童・生徒さんの体験参加内容の調整をします。 実施校からのご希望に臨機応変に対応いたします。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/LvydT1SoEN4</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>		
		<p>PW:</p>		

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 落語と紙切り】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○

企画名	落語と紙切り
-----	--------

企画のねらい	<p>【落語などの演芸を聞いて笑い、楽しんでもらいたい】</p> <p>◎落語は古典芸能への入り口です 落語を鑑賞する、笑う・・・そこから古典芸能への世界は広がります。若い世代にこそ生の落語に触れて、その楽しさを知って欲しいと思っています。古典芸能(伝統芸能)の中で寄席芸能(落語)は笑いの芸能である為最初に入り易く、また、日本の古典芸能は枝葉のようにつながっているため、落語の楽しさを知ると→歌舞伎→能楽と興味は他ジャンルへと広がっていきます。</p> <p>◎落語が愛される理由 落語は大衆芸能として、長い時代にわたって小さな子供からお年寄りまで、幅広く愛されてきた伝統芸能です。同じ斬でも演者によって全く違う表情を見せ、また、目の前のお客様によってネタ(演目)が変わります。まさに一期一会の芸であり、お客様の雰囲気に合わせて、その日その時の状況で変える、「人と人の芸」、つまりお客様と演者とのコミュニケーションによって成り立つ芸ということです。限られた小道具のみを使い、言葉としぐさ、表情を駆使して、一人で何役も演じ分け、お客様に情景を創造してもらい魅せる芸が落語なのです。 お客様が落語家の一挙手一投足を見つめ、時にほんのわずかな仕草や言葉でお客様が笑い、湧く。世界でも類を見ない話芸である落語が生まれた背景には、美しく、しかし複雑な言語である日本語、四季、食・慣習、そしてなにより日本人の情、そんな「日本ならではの」があったからこそ生まれた文化だと思います。落語の笑いには情があり、これこそ万人から愛され続ける最大の理由だと思います。</p> <p>◎落語に出会う機会としての学校公演 現代では色々な媒体でさまざまな情報を得ることができ、楽しませてくれる娯楽が有りますが、落語の面白さはどの時代においても普遍的なものです。 ただ残念なことに落語を身近に体験する機会が薄れてきた現代、だからこそ舞台芸術との出会いの場である学校公演が重要と考えます。</p> <p>◎まずは落語を聞いて楽しんでもらいたい ただ面白い！笑える！というだけでなく、物語の登場人物から人に対しての人情、教訓、思いやりなど様々な要素が含まれている、心に残る、上質な笑いが日本にあるということを知って欲しいのです。 しかし、前述したような落語の魅力すべてが、1回の鑑賞で伝えられるはずはありません。学校公演では、まず楽しんで(笑って)いただくキッカケづくりが大切と考え、飽きずに最後まで楽しめるプログラムを作ることに注力しております。</p> <p>【寄席芸能はいつも進化しています】</p> <p>◎寄席とは 「寄(よる)」「席(せき)」と書いて寄席(よせ)、人を集め(寄せ)て興行が行われたことから寄席と呼ばれたわけです。だれでも気軽に足を運び、楽しむことができる寄席は、江戸時代から今に至るまで庶民の娯楽として、愛され続けてきました。昨今は落語ブームを受けて若いお客様が増え、さらなる賑わいを見せています。</p> <p>◎継承され、進化を続ける寄席芸能 寄席で演じられる講談、落語、そして浪曲や色を添える色物を寄席芸能といえます。これらの芸は脈々と受け継がれ、洗練されてきました。その歴史の中で生きた芸人たちは、その時代、時代のお客様に受け入れられるよう、様々な工夫を芸に施し、そして芸は柔軟に変化してきました。これは今の時代でも同じで、長い蓄積で確立した伝統という土台、これを崩さずにその時代に沿った演出を施すことは並大抵の作業ではありません。しかしこの弛まぬ努力こそが、多くの人々を魅了してやまない原動力であり、だれでも楽しめる寄席芸能の秘密なのです。基本的に一人芸である寄席芸能は、歌舞伎や文楽などの伝統芸能と比較しても敏捷性・機動力に優れ、新しい変化をおこす潜在力が十二分にあると言えます。</p> <p>◎耳と目で楽しむ・・・「紙工落語」 紙切りの名人として一時代を築いた二代目・林家正楽、その血統を受け継ぐ桂小南(兄・落語家)と林家二楽(弟・紙切り芸人)の兄弟。両者がそれぞれの芸の特質と芸風を融和(コラボ)させて、生まれたのが紙工落語です。日本が誇る伝統話芸の落語と寄席演芸の華とされる紙切り、2つの芸が調和しながら展開する紙工落語は、他にはない斬新さと分かり易さで、全国の児童、生徒さんに寄席の世界の魅力をお届けしています。</p>
--------	--

<p>演目概要・演目選択理由</p>	<p>「紙工落語」 落語は演者が語る噺を聞いて情景をイメージする芸能ですが、とはいえビジュアルを伴う方が理解がしやすいものです。紙工落語は落語の噺と合わせて、演者の背景に紙切りの画が投影されますので、通常の落語に比べて理解がしやすくなります。</p> <p>「落語の演目(ネタ)」 定番の古典落語を選択します。分かりやすく、印象的なものが多いからです。 紙工落語:「牛ほめ」オウム返しの構造の落語の典型的な形態。噺が分かりやすい 落語:「初天神」子供が主役の噺。小憎らしくも愛らしい金坊と父親とのやり取りを通して浮かんでくる情景 ※演目は異なる可能性が有ります。</p> <p>「紙切り」 寄席興行で落語と落語の間で、演じられる話芸以外の演芸を色物といい、紙切りは色物の一つで、都度客席から注文を受け、それを即座にハサミで切り出します。その特異性から同じ色物の曲芸や奇術に比べると極端に演者が少なく、寄席のみならず学校公演でも希少かつ大変人気の高い芸です。</p>		
<p>児童・生徒の参加又は体験の形態</p>	<p><ワークショップ> ※別紙「ワークショップ」もご参照ください 落語と紙切りの二つの体験をイープンに構成、全員が参加できる体験にしました。 ○落語:手ぬぐいや扇子を用いて様々なものに見立てる落語の仕草。手ぬぐいをお芋に、扇子をおそばを食べる箸に見立てて食べる仕草の体験。 ○紙切り:はさみと紙で蝶々を創作していただき、そしてそれぞれが切った紙切りを台紙に貼り、一つの作品に仕上げます。</p> <p><本公演> ※別紙「本公演」もご参照ください ○紙切り:切ってもらいたい内容を注文していただきます。目の前で出来上がる紙切りの作品に驚きます。 ○紙切り大喜利:児童・生徒さんによる紙切りの発表。</p>		
<p>児童・生徒の参加可能人数</p>	<p>本公演</p>	<p>参加・体験人数目安 鑑賞人数目安</p>	<p>WS内体験制限無し。本公演(大喜利)は6名 制限無し</p>
<p>本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付</p>	<p>※本公演についての詳細は、別紙「本公演」をご参照ください</p> <p>第一部ではオーソドックスな落語と紙切りを、そして第二部に二つが合体した「紙工落語」をご鑑賞いただく趣向です。</p> <p>第一部</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 寄席入門 桂小南 高座やめくりなど舞台上に於ける解説をいたします。 2. 紙切り 林家二楽 「お題」リクエストを注文していただき、即興で切り上げます。 3. 落語 柳家喬之助 など 本格派の真打による古典落語を一席お楽しみいただきます。 <p>お仲入り(休憩) 休憩中もお楽しみ！紙切りの展示をお楽しみください</p> <p>第二部</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 紙切り大喜利 児童・生徒さんによる、大喜利のコーナー。お題に合わせて、自由な発想で切ってもらいます。 ※出演する児童・生徒は事前に選出していただきます。 5. 紙工落語「牛ほめ」など 桂小南 & 林家二楽 落語に合わせて紙切りが投影。紙切りの絵が噺のイメージを膨らませます。 <p style="text-align: right;">公演時間 90 分</p>		
<p>出演者</p>	<p>出演者:4名 桂小南(落語家)、林家二楽(紙切り)、 真打落語家(柳家喬之助、柳家小傳次、柳家崑三郎 など)、 林家八楽(紙切り)</p>		
<p>演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名</p>	<p>桂小南(落語):昭和55年 二代目桂小南へ入門「南らく」/昭和59年 二つ目昇進。南らく改め「南楽」 平成5年 真打昇進。南楽改め「小南治」/平成29年「三代目桂小南」襲名 父は二代目林家正楽。弟は紙切りの林家二楽</p> <p>林家二楽(紙切り):昭和64年 二代目林家正楽へ入門/平成3年 師匠とともに寄席の初高座 父は二代目林家正楽。兄は落語家の桂小南</p> <p>林家八楽(紙切り):平成29年 林家二楽へ入門/令和4年 紙切りとして色物に入る/父は林家二楽。叔父は落語家の桂小南</p>		
<p>本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む</p>	<p>出演者: 4 名 スタッフ: 2 名 合計: 6 名</p>	<p>運搬</p>	<p>積載量: 1 t 車長: 5.3 m 台数: 1 台</p>

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出		
	7:30	7:30~10:45	WS 11:00~11:50 本公演 13:30~15:00	WSは0 分、本公 演は10分	15:00~16:30	16:30	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。	
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期について は、採択決定後に確認し ます。(大幅な変更は認め られません)	6月	7月	8月	9月				
	21日	8日	0日	14日				
	10月	11月	12月	1月				
	23日	9日	19日	15日				
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	109日			
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真) ※採択決定後、図 面等の提出を願 いします。	(図1) 公演中の様子。							
	(図2,3) 舞台上で設営するのは高座と袖の飾り、 背景のスクリーンとシンプルですが、 限られた機材の中で、最大限の効果を出せるように 考慮しており、スクリーンには、プログラムの内容に 応じて、舞台背景や、紙切りWS時の手元カメラ、 紙切りなどが投影されます。							
								
	(図4) 体育館フロアには、 林家二楽の紙切り作品を展示 いたします。 まさにカミ技の紙切りを 間近で鑑賞いただけます。							
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否		該当なし		該当コンテンツ名			
	該当事項がある 場合	権利者名			許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 落語と紙切り 】

ワークショップのねらい	<p>当企画におけるワークショップでのこだわりは「親しみ」をテーマにしております。</p> <p>演芸についてまったく知らない＝ゼロベースで鑑賞をする子供たちに対して、「落語」と「紙切り」を知り親しむこと。その為に体験を中心とした内容で構成いたしました。</p> <p>また、C区分の特性を活かし、1日でワークショップと本公演を実行するにあたり、内容を明確にし、1日を通して内容を理解し、効果的に印象を残すことができるようにしております。</p> <p style="text-align: center;">【AM:ワークショップ】落語や紙切りを知る → 【PM:本公演】大いに楽しむ</p> <p>ワークショップでは親しみをもってもらう為に、以下2点をポイントとしています。</p> <p>① <u>全員が体験できるようにすること</u> 落語と紙切り、それぞれにおいて、全員が参加できる体験にしました。</p> <p>② (落語の道具)扇子・手ぬぐい / (紙切りの道具)はさみと紙 <u>全員で触り、体験</u> 実際に落語家さんが使っている本物の扇子と手ぬぐいを体験で使用してもらいます。紙切りにおいても当方から配布する紙は、プロの芸人が使う紙になるべく近い紙質のものにこだわり、準備をいたします。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限無し
ワークショップ実施形態及び内容	<p>※ワークショップについての詳細は、別紙「ワークショップ」をご参照ください</p> <p>出演:4名 [桂小南、林家二楽、真打落語家、林家八楽] 公演時間:50分</p> <p>ご用意いただくもの:ハサミ・のり 配布するもの :扇子と手ぬぐい(落語体験用)※体験後回収 紙(紙切り体験用)</p> <p>落語の部 桂小南・柳家喬之助 など <u>落語① 落語の解説</u> 実演も交え、分かり易く解説。落語がどんな芸能かを、知っていただきます。</p> <p><u>落語② 落語の体験</u> 全員に落語家さんが実際に高座で使用する、本物の扇子と手ぬぐいをお配りします。2班に分かれ、片方が演じ(体験)ているのを鑑賞します。まずはお手本を観ていただき、全員で体験！</p> <p>紙切りの部 林家二楽・林家八楽 <u>紙切り① 紙切りの解説</u> 色物の代表的な芸でお客様から「お題」(リクエスト)をいただいて切り上げる。ハサミより紙を動かしながら、途中で切り離さず、一筆書きのように切ります。解説では切っている手元をプロジェクターで大きく映しながら解説をいたします。</p> <p><u>紙切り② 紙切りの体験</u> まずはお手本を観ていただきます。手元カメラで林家八楽の紙切りを投影しながら、紙切りのやり方を学び、みんなで「蝶々」や「花」を切ってみます。切りあがったそれぞれの紙切り作品は、予め林家二楽が作成した紙切りの草原の絵がプリントされた大きな台紙に貼り付け、作品を完成させます。体験をすることにより、紙切りの難しさを知っていただきながら、切った蝶々が作品となる喜びを感じていただきます。 ※けがの危険性には配慮しながら進行しますが、学校様のご判断で参加対象を学年単位に変更が可能です。</p>		

その他ワークショップに関する特記事項等	当企画において、C区分の特性や、日程をまとめることにより、学校への日程的な負担を減らすことを考慮し、ワークショップと本公演は同日で開催することを想定しております。同日で開催することにより、ワークショップで聞いたことや体験したことが明確な状態のまま本公演を鑑賞することができ、事業内容としてより効果的であると考えます。※ 別日程での開催をご希望の場合対応可能です。
----------------------------	---

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

落語と紙切り

】

※別紙「工夫と特徴」もご参照ください

下記は弊社(影向舎)の学校公演での公演実績に基づき記述されたものです。
*弊社は学校の古典芸能で年間600超ステージの実績を有しております。
(業界では実績一位)

①本事業に対する取り組み姿勢

弊社は全国の高等学校、中学校、小学校において、古典芸能を中心に演劇、音楽と様々な舞台芸術をご紹介します。その公演数は年間500~600に及び、わが国の青少年向けの団体では最大規模と自負しております。

学校公演の目的を「子どもたちが今まで出会うことがなく、これからもなにかの機会がなければ出会うことがないであろうものを紹介する」と考えています。

「いかにして子どもたちに楽しんでもらうか」これが弊社クルー(出演者とスタッフ)の仕事、常に子どもたちが大人になった未来に結果を見据えて取り組んでいます。

これこそが弊社の揺るぎない姿勢であり、理念です。当然のことながら、これは本事業でも変わることはありません。

従って本事業においては、本公演(鑑賞)で「面白かった」「感動した」とより強く感じて頂く事が最も重要であり、体験や創作は、よりよく鑑賞いただくための要素と考えます。また同じ要素として、子どもたちを感動へ誘う空間演出(本格的な舞台演出)にはこだわります。

本物の、本気の文化芸術を提供いたします。

●専門職分業を結集して最高の公演を行う

【”芸人は笑いのプロフェッショナル” スタッフは舞台設営のスペシャリスト”】

本事業において落語家を始め出演者である寄席芸人が舞台設営を行うことは決してありません。芸人は子どもたちの記憶に残る寄席公演となるよう出演に専念します。スタッフはその出演者のエネルギーが最大限に発揮されるよう熟練の舞台監督の指示の下、体育館に寄席空間を設営します。両者がそれぞれの専門性を分業しつつ、どの学校においても最高の公演になるよう力を合わせます。

② 事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

<段取り面での工夫>

これまでの経験を活かし、初めて開催される学校様でも不安なく公演に臨めるよう、水先案内人を務めます。

- 常にお問い合わせにご対応できる体制
平日は常にデスクスタッフが常駐しており、お問い合わせにご対応できる体制を整えております。また公演が近づくと細かなお問い合わせが多くなります。そこで当日担当のスタッフの携帯番号も学校様にお伝えしています。
- 専門スタッフによるサポート
弊社の舞台、制作、デザインの専門スタッフが全力でサポートいたします。
- 「公演日までのお手引書」をお渡しします
公演までの段取り、当日の注意点なども諸々がこれ一冊に記載されており、打ち合わせ時の記録にもご利用いただけます。
- 事前・事後学習用の動画資料を共有いたします
影向舎が新宿末廣亭ご協力のもと、オリジナルで作成した特別動画「ようこそ寄席へ」の視聴用URLを、事前学習用の資料として共有いたします。落語や紙切りなどの演芸がほぼ1年中行われている寄席っていったいどんなところなのか、客席、舞台、楽屋の様子など、普段見ることのできない裏側をナビゲート。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

<公演面の工夫>

○映像を駆使した舞台演出

いつも見慣れた体育館が非日常の空間になっているドキドキ…。子ども達にとって、より良い鑑賞体験になる為には、ステージセッティングが重要だと考えております。しかしながら、効率の良い運搬、移動をする為、機材を極力少なくする必要もあり、その限られた条件の中でクオリティを高く保つための工夫として、プロジェクターの映像を駆使することで、大掛かりな舞台セットでなくても変化を与え、見た目の華やかさを損なわずに空間演出を行います。

高座の後ろに大きなスクリーンを配した舞台設定をいたします。寄席舞台の背景、紙切りの投影など、プログラムの進行に合わせて、様々な映像をスクリーンに投影して演出します。

○体験(親しむ)から鑑賞(楽しむ)へ

ワークショップを全員体験にすることで、全員に「親しみ」を持ってもらい、本公演への入りをスムーズにいたしました。本公演んでは純粋に鑑賞を楽しんでいただける構成となっております。

○紙切り作品の展示。

林家二楽の紙切り作品を、客席フロアーに展示します。公演前、休憩中、公演後に鑑賞していただくことができます。すばらしい作品の数々を間近で見いただくことができます。

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

落語と紙切り

】

①離島・へき地等における公演実績

◆平成26年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Aブロック》

北海道 別海町立上西春別小学校・北海道 白糠町立白糠中学校・北海道 浦臼町立浦臼小学校・青森県 七戸町立天間西小学校・青森県 西目屋村立西目屋小学校

◆平成27年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Dブロック》

岐阜県 下呂市立馬瀬小学校・長野県 飯綱町立牟礼西小学校・静岡県 東伊豆町立稲取小学校

◆平成28年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Cブロック》

山梨県 甲斐市立敷島北小学校

◆平成29年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Iブロック》

長崎県 壱岐市立箱崎小学校・長崎県 壱岐市立沼津小学校・長崎県 五島市立三井楽小学校・長崎県 壱岐市立石田中学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業「笑てっ亭」《I/Jブロック》

※C区分公演として

鹿児島県 和泊町立国頭小学校・鹿児島県 和泊町立大城小学校・鹿児島県 和泊町立和泊中学校・宮崎県 小林市立須木中学校・鹿児島県 曾於市立菅牟田小学校・鹿児島県 志布志市立潤ヶ野小学校・鹿児島県 指宿市立西指宿中学校・長崎県 長崎市立長崎中学校・大分県 大分市立宗方小学校・福岡県 豊前市立八屋小学校

◆令和3年度 文化芸術による子供の育成事業「落語と紙切り」《I/Jブロック》

※C区分公演として

鹿児島県 西之表市立伊関小学校・鹿児島県 南種子町立大川小学校・長崎県 ながさき東そのぎ子どもの村小中学校・佐賀県 伊万里市立牧島小学校・長崎県 壱岐市立鯨伏小学校・長崎県 壱岐市立勝本中学校・鹿児島県 霧島市立牧之原中学校・福岡県 北九州子どもの村小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業「笑てっ亭」《Kブロック》

※C区分公演として

岐阜県 揖斐川町立谷汲中学校・岐阜県 大垣市立多良小学校・福井県 勝山市立荒土小学校・京都府 亀岡市立育親中学校・福井県 坂井市立兵庫小学校・愛知県 刈谷市立依佐美中学校・福井県 大野市立和泉中学校・富山県 高岡市立川原小学校・石川県 小松市立松東みどり学園・石川県 川北町立橋小学校

◆令和4年度 文化芸術による子供の育成事業「落語と紙切り」《Kブロック》

※C区分公演として

三重県 熊野市立明日香中学校・奈良県 御所市立秋津小学校・和歌山県 日高川町立笠松小学校・和歌山県 有田川町立田殿小学校・和歌山県 有田市立港小学校・和歌山県 田辺市立上芳養小学校・和歌山県 日高川町立川原河小学校・和歌山県 日高川町立和佐小学校・大阪府 大阪市立開平小学校・和歌山県 橋本市立学文路小学校・奈良県 上北山村立上北山やまゆり学園

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業「めばえ寄席」《Aブロック》

北海道 網走市立第一中学校・北海道 中富良野町立中富良野中学校・北海道 仁木町立仁木中学校・岩手県 宮古市立花輪小学校・岩手県 気仙沼市立九条小学校

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業「笑てっ亭」

※C区分公演として

大阪府 寝屋川市立桜小学校・奈良県 御所市立掖上小学校・三重県 熊野市立飛鳥中学校・三重県 津市立美杉中学校・奈良県 吉野町立吉野中学校・大阪府 泉南市立福井小学校・和歌山県 有田川町立金屋中学校・奈良県 御所市立葛小学校・兵庫県 西脇市立芳田小学校・京都府 長岡両市立長法寺小学校

◆令和5年度 文化芸術による子供の育成事業「落語と紙切り」

※C区分公演として

福島県 伊達市立伊達東小学校・岩手県 可長崎町立西小学校・北海道 釧路市立山花小中学校・北海道 平取養護学校静内ペテカリの國分校・秋田県鹿角市立八幡平中学校・青森県 青森県立弘前第二養護学校・青森県 五所川原市立浦小学校・青森県 むつ市立奥内小学校・茨城県 古河市立三和北中学校・福島県 石川町立石川小学校

C区分で事業を
実施するに当たっての工夫

◆過去3年度 学校公演実績【都道府県順不同】

根室市教育委員会(北海道根室市)・夕張市教育委員会(北海道夕張市)・本別高校(北海道中川郡本別町)・別海高校(北海道野付郡別海町)・豊頃町教育委員会(北海道中川郡豊頃町)・岩内高校(北海道岩内郡岩内町)・七戸高校(青森県上北郡七戸町)・有田工業高校(佐賀県西松浦郡有田町)・東串良高校(鹿児島県肝属郡東串良町)・波佐見高校(長崎県東彼杵郡波佐見町)・築城西高校(福岡県築上郡築上町)・入善高校(富山県下新川郡入善町)・川内高校(鹿児島県薩摩川内市)・相良高校(静岡県牧之原市)・小城高校(佐賀県小城郡小城町)・武雄高校(佐賀県武雄市)・鹿本農業高校(熊本県山鹿市)・香川中央高校(香川県香川郡香川町)・向陽高校(沖縄県島尻郡具志頭村)・小牛田農林高校(宮城県遠田郡美里町)・指宿市立指宿商業高校(鹿児島県指宿市)・南部商業高校(沖縄県島尻郡八重瀬町)・那覇工業高校(沖縄県浦添市)・南大隅高校(鹿児島県肝属郡根占町)・与勝高校(沖縄県うるま市)・出水工業高校(鹿児島県出水市)・長野原高校(群馬県吾妻郡長野原町)・大槌高校(岩手県上閉伊郡大槌町)・蔵王高校(宮城県刈田郡蔵王町)・住田高校(岩手県気仙郡住田町)・赤井川村教育委員会(北海道余市郡赤井川村)・孀恋高校(群馬県吾妻郡孀恋村)・尾瀬高校(群馬県沼田市)・倶知安高校(北海道虻田郡倶知安町)・和気閑谷高校(岡山県和気郡和気町)・七飯高校(北海道亀田郡七飯町)・月形町教育委員会(北海道樺戸郡月形町)・木造高校(青森県つがる市)・伊具高校(宮城県伊具郡丸森町)・大空町教育委員会(北海道網走郡大空町)・桧山北高校(北海道久遠郡せたな町)・加治木工業高校(鹿児島県始良郡加治木町)・石巻北高校飯野川校(宮城県石巻市)・杵島商業高校(佐賀県杵島郡大町町)・郡上高校(岐阜県郡上市)・田村高校(福島県田村郡三春町)・川内商工高校(鹿児島県薩摩川内市)・鹿屋中央高校(鹿児島県鹿屋市)・芦北高校(熊本県葦北郡芦北町)・玉東中(熊本県玉名郡玉東町)・静内高校(北海道日高郡ひだか町)・知念高校(沖縄県島尻郡与那原町)・名護商工高校(沖縄県名護市)・美来工科高校(沖縄県沖縄市)・種子島高校(鹿児島県西之表島市)・読谷高校(沖縄県中頭郡読谷村)・高松東高校(香川県木田郡三木町)・安房拓心高校(千葉県安房郡和田町)・皆野高校(埼玉県秩父郡皆野町)・香春町教育委員会(福岡県田川郡香春町)・小樽明峰高校(北海道小樽市)・佐世保工業高校(長崎県佐世保市)・中部農林高校(沖縄県具志川市)・佐世保商業高校(長崎県佐世保市)・湧別町教育委員会(北海道湧別町)・嘉手納高校(沖縄県中頭郡嘉手納町)

②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、
小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

寄席演芸は、お客様と芸人一人、座布団一枚で成立する機動力の高い芸能です。
C区分に申請するにあたり、そのフットワークの良さを活かしつつ、より落語の魅力を
子供たちに体感してもらうべく番組構成・舞台設営を行います。笑いは、日本のどこでも
隔てがありません。津々浦々に落語の楽しさをお届けします。

③C区分応募における、費用面の工夫

○機材の運搬、スタッフの移動をワゴン車1台に集約
離島などの公演では、すべての道具を宅配できるようにしています。

○限られた機材の中でステージセッティングを保つための工夫
高座とスクリーンのシンプルな舞台設定ですが、プロジェクターの映像を
駆使することで、
大掛かりな舞台セットでなくても変化を与えることが可能となり、見た目の華やかさを
損なわずに空間演出ができます。

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.2

【公演団体名

落語と紙切り

】

別添「本公演」

本公演プログラム (時間：90分)

第一部ではオーソドックスな落語と紙切りを、そして第二部に二つが合体した「紙工落語」をご鑑賞いただく趣向です。

出演：4名 [桂小南、林家二楽、真打落語家、林家八楽]



1 寄席入門 桂小南

高座やめくり、落語や寄席、舞台についての解説。

○寄席 ○高座 ○座布団 ○寄席文字／めくりについて



2 紙切り 林家二楽

その場で「お題」(リクエスト)をいただき、お囃子に合わせて即興で切り上げます。驚きと感動の連続。プロの妙技をご覧ください。



3 落語 柳家喬之助 など

*他の真打落語家に変更の可能性あり。

定番の分かり易い落語演目を演じます。落語は演者とお客様が一緒に創り出す芸。創造を膨らませて大いに笑いましょう。



お仲入り (休憩)

休憩中もお楽しみ!

○休憩中も紙切りの展示をお楽しみください



本公演演目



4 紙切り大喜利

代表の児童・生徒さんによる、紙切り大喜利。お題(「海のもの」や「山のもの」など)に合わせ、自由な発想で切ってもらいます。どんな作品が出来上がるかな。

*出演する児童・生徒は事前に選出させていただきます。



進行役の八楽さんから開演前に、出演する児童・生徒さんへ、出演内容の説明をいたします。

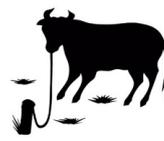


5 紙工落語「牛ほめ」

桂小南 & 林家二楽

落語、その言の葉をハサミが切る

落語に合わせて紙切りが展開。スクリーンに投影される奇想天外の絵が唸をより膨らませます。



別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先

No.3

【公演団体名

落語と紙切り

】

別添「ワークショップ」

ワークショッププログラム (時間：50分)

学び(落語と紙切りとはどのような芸能か?) → 体験へと進行してゆきます。
体験は落語、紙切りとも全員と一緒に体験できます。

出演：4名 [桂小南、林家二楽、真打落語家、林家八楽]



= 意図(知っていただきたい内容)と工夫



= 注釈

ご用意いただくもの ハサミ・のり 配布するもの 扇子と手ぬぐい・紙(紙切り体験用)

落語の部

桂小南・柳家喬之助 など

落語



1 落語の解説

大きな3つのポイントを実演も交え、
分かり易く解説

- ①一人て上下《かみしも》を振って(=左右を見て)、登場人物を演じ分ける
- ②小道具は扇子と手ぬぐいだけ。これを色々な物に見立て表現する。
- ③漸にオチがある。



落語がどんな芸能かを、知っていただきます。



落語



2 落語の体験

全員に本物の扇子と手ぬぐいをお配り
します。まずはお手本を観ていただき、
全員で体験!2班に分かれ、片方が体験して
いるのを見学し合います。



◎実際に演じてみると結構難しい技
であることが分かる。

◎他の子たちに見学されながら演じて
みることによって、緊張感が生まれ、
真剣に取り組んでもらえる。

- <A班> = 扇子 「おそばを食べる」
- <B班> = 手ぬぐい 「おいもを食べる」

紙切りの部

林家二楽・林家八楽

紙切り



1 紙切りの解説

紙切りがどういうものかを
実演を交えて解説

色物の代表的な芸で、お客様から「お題」(リクエスト)を
いただいて切り上げる。ハサミより紙を動かしながら、
途中で切り離さず一筆書きのように切ってゆく。



紙切りがどんな芸能かを、知っていただきます。



切っている手元をプロジェクターで
大きく映しながら解説をいたします。

紙切り



2 紙切りの体験

まずはお手本を観る。
→八楽さんの紙切りを見本にやり方を学ぶ。
→みんなで「蝶々」や「花」を切ります。
→自分と周りの人の作品を見比べてみよう。それぞれが個性的な作品が出来上がっているはず。



**大きな紙に、みんなが切った
蝶々を貼ろう!**

ワークショップ後、上の「虫取り少年」の
台紙に自分が切った蝶々を自由に貼っていただきます。
色とりどりの蝶々が飛び回ります。



紙切りの難しさを知り、作品を作る喜びを感じていただく。



ワークショップ
実施形態及び内容